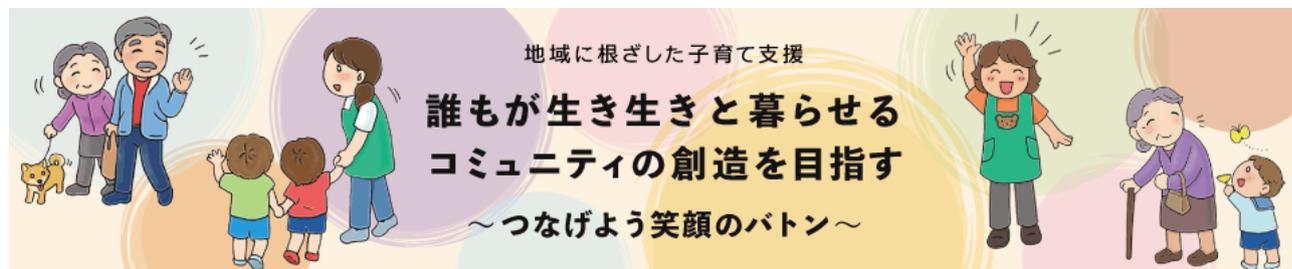


令和3年度 活動報告書

NPO 法人 すぎなみ子育てひろば chouchou

はじめに



子育て支援事業チーム のミッション

- *子育て家庭に今必要とされているものをキャッチします
- *解決方法を利用者とともに考え、必要とされる支援サービスを提供します
- *子ども・保護者が過ごしやすい環境づくりに努めます
- *個々の専門分野を活かせるように、常に自己研鑽し、他事業チームとの連携を図ります



いつき 樹保育園 保育事業チームのミッション

- *子どもたちへ
生きる力の基盤を育成します
- *保護者の方へ
保護者の方たちと信頼関係を深め、パートナーとして子どもを共に育てます
- *保育士として
保育のプロとして常に自己啓発に努めます
- *保育のチームとして
風通しの良い組織になるために「かく・れん・ぼう（確認・連絡・報告）」を忘れません

法人運営

令和3年度は認可保育園開園を目標にそれぞれの事業が、いつもとは違う環境で、質の高い成果を上げる努力と工夫をしてきました。二度にわたる引っ越しやイベント等、事業間の連携が強く求められ、各人の得意分野を活かし、英知を集結して取り組んできました。その結果、無事に令和3年度から令和4年度へバトンが渡されました。

大きな変革とチャレンジの中で、私たちの行動指針は、子育て支援のNPO法人としてのミッションです。ミッションが暗黙知ではなく、言語化された共有知となるよう、ミッションを長い時間かけて議論し、内容を掘り下げていきました。そして、各事業チームのミッションへと落とし込みました。このミッションは、今後もシュシュが変革、チャレンジに立ち向かうための行動指針とします。キャッチコピーにあるように、様々な人の人生における笑顔のバトンをつなげていきます。

令和3年度、法人運営として取り組んできたことを以下にまとめます。

引越し

- ・令和3年5月2日 引越し 杉並区上荻 3-26-14 ドミトリー上荻Ⅱへ
事務局はドミトリー上荻Ⅱ 201（法務局にて登記）
保育室はドミトリー上荻Ⅱ 1階と 202
- ・令和4年3月19日 引越し 保育室から樹保育園へ（杉並区上荻 3-22-13）
- ・令和4年4月2日 引越し 保育室があった場所にひろばひとときが入る

定款変更

- ・令和3年5月 総会で可決→8月 東京都への報告、変更申請 形式確認あり
11月 法務局へ登記書類提出(11/11 申請、11/18 取得)

シュシュの理念、ミッションを理事会で議論

- ・令和3年6月~8月に理事会で討議し、9月に理念としてまとめた
- ・令和3年10~11月に各チームのミッションを考えまとめた
- ・令和4年3月 シュシュの理念とミッション、キャッチコピーをホームページの「運営について」のページに記載

広報

- ・ホームページの改変 令和3年4月~
4月 ホームページの改変依頼（シュシュのおうちの中に支援と保育の柱があるイメージ
樹保育園のロゴ完成）
- 5月 改変作業（理事長挨拶、室長あいさつ、感染症対策ページ、
個人情報の取り扱いについて、プライバシーポリシー、決算情報）

9月 完成形近づく 樹保育園採用お問合せメールのリンク

11月 ホームページ改変終了

・公式 Line での情報発信スタート（令和3年8月から）

・メディア取材

7月 リクルート スーモ の取材（7/11）

9月上旬からスーモのホームページ上の動画「パークハウス上荻」の中で登場

10月 テラコヤプラス（習い事、塾の比較サイト）の取材

11月 テラコヤプラスのホームページにて記事掲載

2月 FM ラジオの Tokyo FM の番組「サステナデイズ」内でシュシュの

親子リトミックについて電話取材あり 2/10 11:38～放送

他、放送実現はしなかったが、Tokyo MX TV や News Zero から取材の打診を受けました。

このようにメディア取材を受けるのは、ホームページ更新の努力を積み重ねた結果であり、サイトの信用性が上がっていると考えられます。

新型コロナウイルス対策の強化

法人としての感染症対策のガイドラインを確立し、感染症の予防に努めてきました。

杉並区の委託事業・補助事業へのチャレンジ

12月～3月 子ども子育てプラザ善福寺一時預かり事業の公募

第一次審査（書類審査）、第二次審査（ヒヤリング）を経て、選定、受託

3月 ひととき保育・つどいの広場事業再開手続き完了（東京都、杉並区）

3月 杉並区家庭的保育事業 小規模保育事業所 シュシュ保育室 閉室

地域とのつながり

- ・ シュシュサロン ゲストデー 荻窪近隣在住の10人のゲストの人生インタビュー企画



当日のインタビュー内容はホームページにて掲載中。
パワーをもらうストーリーです。ぜひ読んで下さい。

1	内山 知子さん	靴房 TOSUN オーダーメイド靴職人
2	浦部 真実子さん	リトミック講師
3	大岩 俊介さん	大岩食堂 店主
4	井口 雄太さん	井草湯 店主
5	大友 育美さん	フードコーディネーター
6	麻田 ゆきさん	ジャズシンガー ゴスペル講師
7	万田 祐三さん	万田サイクル 店主
8	森下 久美子さん	元 0123 吉祥寺 0123 はらっぱ園長
9	ピグマリオン 恵美子さん	一般社団法人 Global Kid's Mom 代表理事
10	伊藤 敦美さん	助産師 くがやま助産院

- ・ シュシュ保育室

保育室に通っていない地域の方々に向けて、保育室体験、英語体験、育児相談を企画

- ・ 町会のイベントに参加

2/28 炊き出し訓練 3/27 消火訓練

認可保育所の開設準備

- ・ 採用

3月 樹保育園のロゴマーク完成→関東バスのつり広告デザイン→掲載 1年間の契約

4月 保育園パンフレット作成、発注、5月納品

5月 新卒、学生向けサイト ココキャリ 株式会社キャリアフィールドさんに掲載依頼

6月 中途採用に向けて準備（ハローワーク、ホームページ求人情報発信）

7月～12月 常勤保育士4名、非常勤保育士等2名、常勤看護師1名、常勤調理員2名、内定シュシュ保育室職員と新規採用を合わせて、樹保育園 正規職員16名、非常勤職員名7名

工事状況

- 4月 設計事務所契約 工事施工会社入札
- 5月 シュシュの引っ越し 旧棟の民家、解体工事 5/28まで
- 6月 6/3 施工会社契約 6/10 地鎮祭 外構工事始まる
- 9月 工事遅れあり 行政の指導あり 工程表の見直し求められる
- 12月 12/22 上棟式 工事2か月の遅れ
- 1月 工事遅れについて行政からの指導あり
 - 区の現地確認 2/8→2/21 再設定
 - 都の現地確認 2/15→2/25 再設定
- 2月 工事遅れ 行政からの再指導あり
- 3月 3/18 施主検査と引き渡し
 - 3/19 引越し
 - 3/21 内覧会
 - 3/22→3/31 工事続行
- 4月 4/1 入園式

・樹保育園の内覧会

3/21（祝）園児さん、関係者、地域の皆様、お付き合いのある会社様、法人様、先生方からお祝い、ご声援いただき、たくさんの方にご来場頂きました（大人、子ども合わせて208人）。お礼申し上げます。

・長引く工事

認可保育園建設工事にあたり、長引く工事と工事計画の大幅な変更で近隣の皆様に多大なるご迷惑をおかけし申しこと、お詫び申し上げます。

I ひろば事業

1. つどいの広場：シュシュサロン～地域とつながる広場

事業日程	① 金曜日 9:30～11:30 ② 年間10回、不定期で特別ゲストデー開催。9:30～11:30 ③ 第2月曜日(5、7、10～12月) 10:30～11:30
場所	① 杉並会館または西荻地域区民センター ② 西荻地域区民センター他 ③ 関根文化公園
利用料	100円
従事スタッフ	9名 (内2～3名配置)
対象者	乳幼児親子他、地域の方
年間利用組数	323組 (①209組 ②65組 ③49組)

令和3年度つどいの広場を休止し、代替事業として区施設を借り「シュシュサロン～地域とつながる広場」として活動をつづけました。運営費として杉並区地域福祉活動助成金を活用し、通常の広場事業を継続しつつ、年間10回、特別ゲストデーを設け、助成金事業だからこそできる企画を試みました。

活動内容

① つどいの広場

0.1歳児の親子の利用が多く、その過半数が育児休業中の母親でした。悪天候でも利用者の足が途絶えることはありませんでした。会場は広い和室を選び、スタッフがおもちゃを選定してか毎回会場設営をしており、限られたおもちゃの中でも利用者はゆったりと過ごし、遊ぶことができていました。

② 特別ゲストデー

杉並区地域福祉活動助成金を活用し、「特別ゲストデー」という企画を10回行いました。近隣の商店や事業主、専門家など、地域で活躍するゲストを招き、その方のこれまでの人生や現在のお仕事に至るまでのストーリー、この地域で活動することへの思い、今後の展望などについて幅広くお話を伺いました。また、参加者からの質問コーナーを設けることで、地域住民との交流の場を提供しました。地域で活動するゲストの方のお話を伺うことで、参加者が地域についての知識を深めたり、つながりを増やすきっかけとなりました。参加者はゲストの経歴、行動力に驚き、共鳴し、その熱意に感動していました。この企画で得ることができた縁を大切に、今後もつながっていきたいと思います。

③ 公園で遊ぼう

定員を定めることなく、関根文化公園へのお出かけを呼びかけました。初めのころはシートの上に座ったり、抱っこされていた子どもたちは、月齢が上がるにつれてあちこちに歩くようになりました。当初、シュシュサロンの開催場所は室内のみで検討していましたが、スタッフから「戸外の広場もニーズがあるのでは」という発案で開催しました。利用者が空の下で輪になって楽しそうに会話する姿を見て、公園開催を企画して良かったと思いました。

2. きずなサロン プチシュシュ

事業日程	毎月第4木曜日 9:30～11:30
場所	井草区民センター内 和室
利用料	100円
従事スタッフ	3名
対象者	乳幼児親子他、地域の方
年間利用組数	32組

社会福祉協議会主催のきずなサロンとして11年が経ちました。令和3年度はコロナ対策をしながら祝日を除き10回開催しました。

久しぶりに遊びに来てくれた親子や新規の親子が集い、年度の後半は固定された顔ぶれでした。月1回の開催ですが、お子さんの成長を感じたり、保護者の方々が情報交換をしたりと、大切な居場所になっています。近隣施設の下井草プラザ館長も見学に来てくださり、その後プラザでの地域交流会等にも参加しました。地域の方々との繋がりを大切にしながら、温かい支え合いの場として、継続していきたいと思えます。

3. 赤ちゃんカフェ

開催日時	毎週水曜日 9:30～11:30
場所	杉並会館 和室
従事スタッフ	4名 (内3名配置)
対象者	0歳児親子
利用人数	273組 新規48組
参加費	1,000円 (子育て応援券使用可)

赤ちゃんカフェは、子育てへの不安感や社会からの孤独感を感じている0歳児の親子や妊婦のために癒しの場を提供しています。

令和3年度は、杉並会館の和室での開催となりました。前年度と同様コロナ禍で、感染予防や人数制限をしながらの開催となりました。出産して子育てが始まってからも、なかなか外出ができなかった母親たちが、安心して行ける場所として、赤ちゃんカフェを検索したり掲示板を見たりして来てくださいました。令和2年度の助成金事業から始まった助産師による育児相談や、おんぶと抱っこ紐の相談を引き続き定期的に行いました。その他の日はスタッフによるおもちゃ作りや絵本の読み聞かせ、季節の行事(七夕やクリスマス、節分など)を行いました。絵本は、シュシュ保育室の室長にお薦めの本を紹介してもらい一覧表にしました。

おもちゃ作りでは、赤ちゃんをスタッフが見守り、集中して楽しむ母親の姿がありました。絵本の読み聞かせでは、始まると絵本に寄ってきてジューッと見つめる赤ちゃんの姿があり、和やかな雰囲気でご過ごせました。

赤ちゃんカフェに来た母親たちは、子育ての不安を共有または、解消できたり、母親同士の繋がりをもつことができたと思います。赤ちゃんが1歳になる頃には、お兄ちゃんお姉ちゃんと呼ばれるくらい成長し、表情豊かになり、母親のみなさんは子育てに自信を持ち楽しめるようになっていったと思います。

来年度は、ひろばひとつきの場所に戻ります。コロナ禍でしばらくは飲食提供のカフェはできませんが、大人と話すことで気分転換になり、子育てを楽しめるような環境づくりを続けていこうと思います。

II 預かり保育事業

1. ひとつき保育

事業日程	令和3年度は休止
場所	
従事スタッフ	(7名 内、3名は子ども子育てプラザ天沼にて従事)
対象者	
利用人数	
利用料	

ひとつき保育は、理由を問わない乳幼児の一時預かりです。

令和3年度は1年間休止となりました。令和4年度の再開を目指して12月から会議を開き、スタッフ間で様々な確認を行い、より良い形でひとつき保育ができるように話し合ってきました。

また、今後はつどいの広場と同じスペースでの開催となるため、合同分科会を行い、係を決めて役割分担をし、協力しながら運営できるように準備しました。

4月からは最大6名のお子様をお預かりし、つどいの広場と同じスペースでの保育が始まります。「安心・安全・清潔」の心を忘れず、利用者には安心して預けていただき「また利用したい」と思ってもらえるよう、丁寧な保育を心掛けていきます。

2. 子ども・子育てプラザ天沼 一時預かり

事業日程	月～土曜日 9:00～17:00（土曜日は9:00～16:00）
場所	子ども子育てプラザ天沼 一時預かり
従事スタッフ	14名（内5～6名配置）
対象者	6カ月～小学校入学前までの登録したお子様
利用人数	2,665組 ※キャンセル 972件
利用料	1時間 800円（子育て応援券利用可）

「子ども子育てプラザ天沼」の一時預かり事業を杉並区から受託して4年目を終わりました。内容はひととき保育同様、理由を問わない乳幼児の一時預かりです。令和3年度はひととき保育上荻が休止になったことに伴い、荻窪地域の一時預かりを補完するため、区の方針で6名定員のところを8名に増やしました。登録数は2,350人を超え、毎日たくさんの方々にご利用いただいています。

定員が増えたことでさらに注意を払って保育を行いました。コーナー保育を取り入れ、年齢に合わせた遊びを子ども自ら選び、主体性を育む工夫をしたり、子どもの得意分野を伸ばす働きかけができるようにしました。散歩のカリキュラムも定着し、メリハリのあるタイムスケジュールを考えました。また、防災訓練として、毎月地震・火災・不審者侵入の避難訓練を実施し、スタッフの安全意識を高めています。

月1回の分科会では、日常の保育や考え方などの課題を見つけ、スタッフ間で意見交換をし、情報共有と学びの場としています。

天沼一時預かりのミッションは「親子の今に寄り添い、成長をともに喜び合える場にします」です。従来から大切にしてきた「安心・安全・清潔」の心を常に忘れず、大切な命をお預かりするという意識をしっかりと持ち、笑顔と目配り、気配りを心掛け、スタッフ一同更に気を引き締めていきます。

3. シュシュ保育室（小規模認可保育所）

事業日時	月～土曜日 7:30～18:30
場所	4月 杉並区上荻 3-22-13 シュシュ保育室 5月～杉並区上荻 3-26-14 ドミトリー上荻Ⅱ 1階
従事スタッフ	14名
入園児童	0歳児（1名）1歳児（8名）2歳児（6名） 計15名

シュシュ保育室は5年目を終え、令和4年4月1日より認可保育園「樹保育園」として生まれ変わるため、今年度は現在のシュシュ保育室の保育業務に加えて、新園開設準備にも励んできました。まだまだ続いているコロナ禍の状況の中でしたが、昨年と違い「樹保育園」に興味を持って下

さった見学希望者や、保育体験希望者の数も多く、また在籍している保護者の方たちからも「他の保育園に移らなくてすみほっとしています」という言葉も聞かれ、地域に根差した保育園への期待を肌で感じることができました。

しかしその間、感染対策をきちんとしてきたつもりでしたが、職員や保護者、子どもたちの中にもコロナ陽性者がでて、感染力の強さを目の当たりにしました。まだまだ続くこのような状況下で、来年度は園児の定員数も増え、当然保護者の出入りも多くなります。

家庭的だった保育室から、大所帯の保育園になるので、初めは戸惑いや不手際が目立ち右往左往することが多くなるのは当然です。しかし今まで築いてきた保育士間のコミュニケーション能力やチームワークを根底に、さらに大きなチームに発展し子ども、保護者、職員にとって楽しく住みやすい場所となるよう努めていきたいと思っております。

4. 集団託児

派遣件数	杉並区開催会議 15 件	民間団体イベント 2 件
従事スタッフ	7 名中、毎回 2~3 名派遣	
対象者	乳幼児保護者	
依頼件数(延べ人数)	17 件 (32 名)	

集団託児は、主に講座など開催時に依頼を受けて実施する託児です。

コロナ禍で一時は多くの講座・講演会が中止になりましたが、令和3年度は少しずつ再開し、それに伴って依頼も微増しました。託児児童が少ないことで、スタッフはよりお子様が飽きないよう、性別や発達に合わせたおもちゃを選び、楽しく託児時間を過ごせるよう考慮しながら準備をし、感染症対策もより一層の注意を払って行いました。

区から受託する託児は年間契約である一方、開催日、実行の有無が決まるのは直前で大変不安定な性質の事業です。今後スタッフの確保と受託する内容の選定を吟味することが課題となります。

Ⅲ 妊娠期からの子育てまでの情報啓発事業

1. 親子リトミック講座

事業日程	毎週（火）（木）
場所	西荻地域区民センター 第2音楽室 軽運動室 レクリエーション室
従事スタッフ	講師 3名中、毎回1～2名 事務スタッフ 毎回1名
対象者	地域の乳幼児親子
利用料	1,500円（子育て応援券利用可）
のべ実施回数 参加組数	245回 506組

クラスごとの実施実績

クラス名	対象年齢	実施回数	参加組数
ねんねクラス	0歳児親子	201回	165組
よちよちクラス	1～2歳児親子	22回	182組
ジャンプクラス	2～3歳児親子	22回	159組

シュシュの親子リトミックは親子のコミュニケーションの促進、他の親子との関わりのきっかけ作りを目的としています。年齢により3クラスあり、3名の専門講師がクラスを分担しています。熱心かつ丁寧なレッスンは参加者から高く評価されています。できるだけ多くの方が参加できるように、予約受付は1回毎としています。

令和2年1月から常設会場がなくなり、西荻地域区民センターで行うようになりました。区民センターの部屋の予約が思うようにいかないこともあり、確保できた場所で、どの程度の定員で、どのように開催するか、先生方と試行錯誤しながら1年間を過ごしてきました。子どもが裸足になって床を感じられるように敷物を購入したり、本物のピアノ演奏に近いものが提供できるよう、携帯用の電子ピアノを先生が準備されたり、部屋の広さによって定員を増減させたりと、少しずつ環境を充実させていきました。

季節のコンサートはコロナ禍で見送りましたが、夏休みとクリスマスの時期にジャンプクラスとよちよちクラスを合同開催にし、飾りつけを華やかにして工夫を凝らした内容で、多くの方に満足いただきました。

FMラジオのTOKYO FMからも注目され、昼の番組、「サステナデイズ」でシュシュの親子リトミックが紹介されました。それをきっかけに問い合わせ、申し込みも増えました。

開催場所が不安定であること、コンサートを通常開催できないことは、逆転の発想で、色々な可能性が考えることができると捉え、継続していきたいと思えます。

IV 家庭訪問型子育て支援事業

産前産後支援ヘルパー

事業日程	月～金曜日 9:00～17:00
従事スタッフ	従事スタッフ 20名
対象者	区内の産前産後の家庭
申し込み件数	111件
派遣時間	① 通常 1736件 ②多胎児 3657時間 ② 要支援 53時間 ④自主 45時間

産前産後ヘルパーは産後間もない家庭に入り、家事や育児のお手伝い、上のお子さんの送迎等、母親の日常行っていることのサポートをしています。

令和2年度に多胎児支援ヘルパーの体制が強化されたのに続き、令和3年度は産前産後ヘルパーも強化されました。ヘルパー委託料が上がった一方、要支援家庭の委託料と逆転する結果となり、区へ要支援家庭の派遣の意義、家庭と関わることの難しさ、ヘルパー確保の難しさを訴え、令和4年度からは改善される方向にあります。日々業務の中で活動報告や困難事例の相談をしているものの、改めて実情を区に伝えることが必要であると感じました。

ヘルパー委託料が上がったことで参入業者も増えましたが、利用者からはシュシュを子育て支援に特化している団体、住んでいる地域に近い団体ということで信頼を得ているのはありがたいことです。令和3年度は緊急事態宣言下でもその影響を受けることなく、サービス利用期間が長くなったこと、料金も安くなったことで利用者は急増しました。更にパパママ学級の中止やオンライン化、遠方の身内の協力が得られないことも一因となり、これまでにない程派遣が増え、ヘルパー不足が課題となっています。

多胎児家庭の団体「双子ちゃんと一緒@すぎなみ」とつながり、多くのヘルパーが講習に参加しました。多胎児家庭の不安、知識だけでなく、産後の家庭に支援に入ることの一般的な留意点、大切にしたいものを学ぶことができました。

各家庭、それぞれの事情に直面し、ヘルパー自身も葛藤を抱えながら活動しています。定例のヘルパー会議で共有し、ヘルパーが孤立しないような体制にしているものの、年度末から感染症拡大、法人事業拡大の影響で開催できないことが続いてしまいました。この支援が続けていけるよう、利用者へのサポート、活開動するヘルパーへのサポートを大切にしていきたいと思えます。

IV 子育て関連ネットワーク構築事業

多目的スペース「お茶の間ひろば茶ちゃ」の運営

今年度は、多目的スペース「お茶の間ひろば茶ちゃ」の運営事業は休止していました。茶ちゃをシュシュ保育室の代替施設にするための工事がありました。オマタ・エステート様により、令和3年2月から4月に解体・内装工事を進めていただき、ドミトリー上萩Ⅱ1階（お茶の間ひろば茶ちゃ）は、二方向の避難経路を確保した子どもの福祉施設へと進化しました。

令和3年5月から令和4年3月まで、シュシュ保育室がこちらで保育運営を継続しました。令和4年4月からはこちらが、ひろばひととき、赤ちゃんカフェ、親子リトミックの場所となり、活動を再開します。また、多目的スペースとしての活用、レンタルスペース事業を土曜日、日曜日に検討しています。

V 今後に向けて

令和4年度は、新しい仲間（スタッフ）をたくさん迎えました。樹保育園の保育運営チームは、樹保育園の運営に注力し、子どもの育ちへの支援、保護者支援を通じて、さらなる自己研鑽に励みます。子育て支援事業チームは、令和4年度はチャレンジの年です。チームワーク、コミュニケーション力を駆使して、次の目標達成を目指します。

目標1. ひろば・ひととき事業の再開

茶ちゃを有効活用し、安定した経営・運営を目指します。

目標2. 子ども子育てプラザ善福寺 一時預かりの開設

準備チームを結成し、保育の質を高めるチーム作り、保護者支援のスキルを上げていきます。

目標3. 子ども子育てプラザ天沼 一時預かりの契約更新

契約更新の公募で、選定を勝ち取ります。

目標4. 産前産後支援ヘルパーのさらなる躍進

